

<日商簿記2級商業簿記ミニテスト リース> 問題

<問題>

以下の条件で契約したリース取引（ファイナンス・リース取引に該当）について（A）利子込み法と（B）利子抜き法によって、下記の日付の仕訳をしなさい。なお、利子抜き法の場合は、利息相当額を定額法で配分するものとする。また、決算日は毎年3月31日である。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

当座預金	支払利息	支払リース料	現金	リース債務
減価償却費	リース資産	リース資産減価償却累計額	未払利息	普通預金

[条件]

リース契約日：令和2年10月1日

リース期間：5年

見積現金購入価額：178,000円

年間リース料：40,000円（毎年9月30日に現金で後払い）

減価償却：残存価額を0円、耐用年数をリース期間とした定額法により行う。

記帳方法は直接法である

- (1)令和2年10月1日
- (2)令和3年3月31日
- (3)令和3年4月1日
- (4)令和3年9月30日

<問題>

利子込み法

	科目	金額	科目	金額
(1)	リース資産	200,000	リース債務	200,000
(2)	減価償却費	20,000	リース資産	20,000
(3)	仕訳なし			
(4)	リース債務	40,000	現金	40,000

利子抜き法

	科目	金額	科目	金額
(1)	リース資産	178,000	リース債務	178,000
(2)	減価償却費	17,800	リース資産	17,800
	支払利息	2,200	未払利息	2,200
(3)	未払利息	2,200	支払利息	2,200
(4)	リース債務	35,600	現金	40,000
	支払利息	4,400		